



令和7年度関東近県 SSH 指定校合同発表会に参加しました！

令和8年3月22日(日)工学院大学 新宿キャンパスにて行われた、令和7根年度関東近県 SSH 指定校合同発表会に79期2組 尾身 由良さんが参加しました。この発表会は関東地区におけるSSH指定校が集まり、ポスター発表や口頭発表から、研究状況とその成果についての情報・意見交換を行い、生徒一人一人が理解を深め、今後の活動をより充実させる機会です。研究タイトル、アブストラクトは以下のとおりです。

【研究タイトル】

盲牌の技術を用いた新しい識字方法の開発

【アブストラクト】

現代の日本には、太字・点字という2つの主な識字方法が存在する。本研究では、新たなる識字方法として「盲牌」という麻雀をするときに用いられる、牌に彫られている文字を見ずに識字する動作を元にした方法を提案する。盲牌によって、牌をどのように触っているかやどのように触っているかやどの指が一番識字出来るのかなどの観点から識字方法を研究した。そして実際どの程度識字出来ているかを調査した。そこから得られる結果をもとに、盲牌のような方法でひらがなを認識できる識字道具の作成に取り組んだ。



✿尾身さんにお話を聞いてみました✿

Q：研究のきっかけ

麻雀の研究をしたいと思い、盲牌に焦点をあてて実験を行い、視覚障がいの方が識字を覚えずに字を認識できる識字方法の開発を目標とした。

Q：会場の様子

どんな内容の研究にも興味や関心を持っている人が多かったです。会場はテーマごとに分かれていて、ポスターセッションとスライドで発表する所で別れており、どのブースにも人がたくさんいました。

Q：他校の発表を聞いて

他校の発表では、横須賀高校と比べてとても長い時間をかけて実験していたことが心に残っています。自分たちは長くて3年間の研究ですが、5~6年ほどかけて1つの研究をしているので、とても深い研究がおもしろかったです。

Q：発表した感想

自分では見落としていた点や、これからの研究に向けたアドバイスをいただけたので、これからの研究に生かしていきたいと思います。

Q：後輩へ一言

大会や発表会等に出ることで、アドバイスや他の発表から得られる知識もあるので、積極的に参加した方が良いと思います。



実際に使用したポスターはCD棟間2階渡り廊下(西)に掲示しています。ぜひご覧ください！